

広 陵



第53号 2024.6.5

神奈川県立秦野高等学校同窓会会報

《思い出のシリーズ》 オーストラリア姉妹校交流



本校は豪州カジョリーナ・シニア・カレッジ（CSC）校と姉妹校提携を結んでいます。例年、夏は秦高生がCSCを訪問し、冬はCSC生が秦高に来校しています。令和元年度は、8月に本校生徒23名が現地ダーウィンで、1月にはCSC生が秦高生の家庭で、それぞれホームステイ体験をしました。CSC校では、現地の生徒と一緒に英語や化学などの授業を受け、調理実習やラグビー教室などにも参加しました。また、書道などの日本文化の紹介や、野生動物公園などの郊外ツアーも恒例となっています。来校したCSC生は、授業に参加

したり柔道部や弓道部などの部活動を体験しました。秦高生は姉妹校交流を通じて、異なる文化や考え方を学び国際的な視野を養い、CSCの生徒との末永い友情を築いています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で訪問及び来校は中止となり、令和3年度についても豪州現地のロックダウンの影響によりオンラインで予定していた文化交流イベントが中止となりました。令和4年度以降に関しては、CSC校とも相談しながら対応を検討中です。

同窓会会報第53号目次

表紙 題字 宮本 信義(中5回)
スケッチ

岡村 泰成(高6回)

会長ご挨拶、本部役員名簿	1
校長ご挨拶・チャリーディング優勝	2
定期総会・表紙スケッチ	3
令和5年度事業報告・令和6年度事業計画案	4
令和5年度決算・令和6年度予算案	5
「青春かながわ校歌祭」	6
創立百周年記念事業寄付者名簿	7
本部だより・支部だより	8
広畑が丘空はれて	10
在職中の思い出・母校の近況	12
部活動の近況報告	14
母校2023年度進路状況	16
大学・短大合格者延べ数・お知らせ	17
春の異動・物故者など	18

新役員体制の下で



同窓会会長

桐山 昌幸
(高15回)

山並みの緑も深まってまいりました。新年早々の能登半島地震については被災された方々に深くお見舞い申し上げるとともに、早期復興を念ずる次第であります。

昨年はコロナ禍を抜け、同窓会総会を一昨年から引き続き開催することができました。また、青春かながわ校歌祭も5年振りにチアリーダー、吹奏楽の生徒達を交え高らかに歌い上げてまいりました。

学校におきましては、3月357名の卒業生が巣立って、次のステージに向けて力強く踏み出すと同時に「広陵会」への入会にご賛同いただきました。

今年度は、役員改選の年度にあたります。各支部のご協力をいただき、新役員体制が整い、来る総会の席上ご承認いただく運びとなります。

私事、2期6年間、役員の方々の厚いご理解と会員諸氏の励ましを添えていただき、退任にあたり紙上ではございますが、深甚なる感謝お礼を申し上げます。

令和8年には創立100周年を迎えます。大正10年に組合立奈珂中学校設立認可を受け、同年10月29日開校記念日と決定し、以来、昭和23年学制改革により県立秦野高等学校と改称され、現在に至っております。

100周年記念事業に向け、教職員、PTA、同窓会が一体となり、その準備に入っております。つきましては会員諸氏に特段のご支援を幾重にもお願い申し上げ、「広陵会」の更なる隆盛を祈念申し上げて挨拶とさせていただきます。

県立秦野高等学校同窓会本部役員名簿(案)

【顧問】	桐山 昌幸 (高15)	秦 野	
【会長】	久保寺 忠夫 (高28)	秦 野	
【副会長】	吉野 富夫 (高27)	伊勢原 飯山 一美 (高20)	小田原
	小川喜久雄 (高28)	平 塚	※秦野は未定
	長沢 孝治 (高13)	東 京	
【支部長】	草山 忠文 (高14)	秦 野	平田 真一 (高28) 伊勢原
	小川喜久雄 (高28)	平 塚	吉田 信男 (高17) 小田原
	重田 武男 (高15)	秦 野	長沢 孝治 (高13) 東 京
【会計】	谷 富雄 (高20)	伊勢原	平田 真一 (高28) 伊勢原
【会計監査】	竹内 克則 (高28)	伊勢原	須藤 量久 (高31) 平 塚
【校内幹事】	相原芳夫 (高23)	河野治行 (高29)	今井公彦 (高29) 粕谷啓介 (高56)
【事務局】	〈局長〉飯田 保 (高20)	秦 野	
	〈次長〉山口 幸治 (高19)	秦 野	

秦高の矜持

校長 高山 康人



同窓会の皆様方におかれましては、日頃より本校の教育活動に対してご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。今年度も引き続き、歴史と伝統のある秦高で校長として学校の舵取りをさせていただくことになりました。どうぞ、よろしくお願いいたします。

今年度の新入生79期生は、3学年在籍時に百周年を迎えるメモリアル学年となります。同窓会の皆様と学校・PTA・地域の皆様に在校生も加わり、百周年の諸行事を盛り立ててまいりたいと思います。そし

て、これまでの伝統を受け継ぎながら、次の百年を見据えた挑戦に、教職員・生徒とともに取り組んでまいりたいと思います。令和5年度の修了式では、生徒に向けて「秦高の矜持」というテーマで話をしました。「矜」という字は誇りという意味で、本校の校歌にも「清さ 気高さ 我らの矜り」と謳われています。一人ひとりが他者と比較する相対的な誇りではなく、自分の歩んできた道のりを誇れるような、秦高生としての自覚を持ち「秦高の矜持」を心に刻んだ高校生活を謳歌して欲しいと思います。

本校の伝統である「文武両道」の校訓のもと、「質実剛健」に困難を乗り越え、日常の学校生活での「凡事徹底」の実践によって、社会で活躍する人材を育んでまいりたいと思います。今後とも同窓会の皆様方のご支援とご指導をいただきながら、新たな伝統を重ねてまいりたいと思います。

全国優勝 おめでとう！

3月25日、26日、千葉県の幕張メッセイベントホールで行われた全日本チアリーディング選手権大会で秦野高校チアリーディング部「VIGORS」が2022年以来、3回目の栄冠に輝きました。



昭和29年卒業、東京藝術大学
デザイン科卒、日本美術家連盟
会員、Moss Spirits代表

令和6年度 事業計画(案)

- 1 総会・幹事会・役員会・各委員会の開催
- 2 会報「広陵」第53号の発行・配布、ホームページの管理・運営
- 3 第19回 青春かながわ校歌祭への参加
令和6年9月21日(土)
ひらしん平塚文化芸術ホール
〈練習日時〉
8月10日(土) 10時～12時
8月24日(土) 10時～12時
9月8日(日) 10時～12時
〈練習場所〉 秦野高等学校視聴覚室
- 4 支部育成と同期会支援
- 5 在校生への活動支援
部活動助成、全国大会等への出場支援
- 6 学校創立100周年記念事業の促進



令和5年度 事業報告

- 1 総会
6月29日(木)
 - ・会場：湯本富士屋ホテル 10:20～
 - ・幹事支部：小田原・南足柄支部
 - 出席者59名 ※総会后懇親会
 - ・令和4年度事業報告及び決算の承認
 - ・令和5年度事業計画(案)及び予算(案)の承認
 - ・令和4年度全国大会支援金収支決算報告
 - ・賛成拍手多数をもって可決
- 2 役員会
4月2日(日)
 - ・令和4年度会計監査
- 4月16日(日)
 - ・第18回青春かながわ校歌祭への参加について
 - ・同窓会総会開催日程について
 - ・令和4年度事業報告及び決算
 - ・令和5年度事業計画(案)及び予算(案)
 - ・令和4年度全国大会支援金収支決算報告
- 10月29日(日)
 - ・第18回青春かながわ校歌祭について(報告)
 - ・次回総会幹事支部の確認について
 - ・同窓会役員任期満了に伴う役員改選について(会長・会計監査)
- 1月27日(土)
 - ・今後の同窓会運営について
- 2月17日(土)
 - ・第19回青春かながわ校歌祭への参加について
 - ・同窓会総会の開催日程について
 - ・同窓会役員任期満了に伴う改選について
- 3月23日(土)
 - ・第19回青春かながわ校歌祭について
 - ・同窓会総会の開催日程について
 - ・同窓会役員任期満了に伴う改選について(令和6年度～令和8年度)
 - ・令和5年度事業報告及び決算
 - ・令和6年度事業計画(案)及び予算(案)
 - ・令和5年度全国大会支援金収支決算報告
- 3 常任幹事会
4月16日(火)
 - ・令和4年度事業報告及び決算
 - ・令和5年度事業計画(案)及び予算(案)
 - ・令和5年度全国大会支援金収支決算報告
- 4 会報「広陵52号」発行・配布
 - ・発行部数 12,000部 会員へ配布
- 5 支部育成
 - ・5支部に育成助成
- 6 同期会支援
 - ・高6、高14、高74

令和5年度決算・令和6年度予算(案)

◎収入の部 自 令和5年4月1日 自 令和6年4月1日
至 令和6年3月31日 至 令和7年3月31日 ▲印は減少額 単位 円

項 目	令和5年度予算額	令和5年度決算額	令和6年度予算額	摘 要
終 身 会 費	3,600,000	3,580,000	3,600,000	新会員355名 既存会員5名
預 金 利 息	400	384	400	預金利息
雑 収 入	90,000	90,000	90,000	広陵広告協力金
収 入 合 計	3,690,400	3,670,384	3,690,400	
前 年 度 繰 越 金	5,037,802	5,037,802	3,635,187	
総 合 計	8,728,202	8,708,186	7,325,587	

◎支出の部 単位 円

項 目	令和5年度予算額	令和5年度決算額	令和6年度予算額	摘 要
会議費	285,000	303,408	275,000	
総会費	250,000	250,000	225,000	総会開催諸経費(秦野支部担当)
役員会議費	35,000	53,408	50,000	飲物代(役員会、常任委員会)等
事業費	3,660,440	3,708,775	3,760,550	
支部育成費・活動費	240,000	210,000	210,000	5支部に育成費、2支部に活動費
同期会育成費	30,000	30,000	30,000	1同期会実施に10,000円助成
在校生活動振興費	700,440	700,550	700,550	部活動・教育活動支援
会報発行費	2,400,000	2,481,775	2,500,000	広陵発行(編集費、印刷、送料、会議費)
校歌祭参加費	220,000	218,330	230,000	参加費、バス代、飲物代、会議交通費
ホームページ運営費	70,000	68,120	70,000	ホームページ運営費等
慶弔費	20,000	0	20,000	
事務費	70,000	50,816	50,000	
事務局費	50,000	28,000	30,000	事務消耗品代等
通信費	15,000	20,346	15,000	郵送代(切手・葉書等)
印刷費	5,000	2,470	5,000	会議資料コピー代
特 別 払 い 出 し	1,010,000	1,010,000	0	
予 備 費	100,000	0	50,000	
支 出 合 計	5,145,440	5,072,999	4,155,550	
次 年 度 繰 越 金	3,582,762	3,635,187	3,170,037	
総 合 計	8,728,202	8,708,186	7,325,587	

(決算予備費は次年度繰越金になります) 令和5年度会計収支決算について、正確・公正に処理されていることを認めます。

同窓会積立金残高 31,500,000円 会計監査 小島 俊 英 竹内 克 則
令和6年4月6日



☎0120-41-0463

(営)11:00~14:00
17:00~22:00(L.O.21:00)

秦野市尾尻932-14 ㊤30台完備

秦野 一の屋

検索

「青春かながわ校歌祭」

校歌祭実行委員長 福田三郎（高13回）

同窓会の一大イベントとして定着してきた校歌祭。昨年は第18回を横浜で盛大に実施された。我が広陵会も総勢80人が参加して初回からの連続出場を果たしている。

特筆したいのは、現役在校生が30

名以上も舞台で若々しいパフォーマンスを披露してくれたこと。

高齡化するOB達が元気を貰って共演で感動できたことか。

未経験者は、校歌祭の場でOBと現役在校生とのコラボの楽しさをぜひ味わって欲しい。

ちなみに今年度第19回は上記のとおり平塚市の会場で開催予定です。

大会実行委員長校平塚江南高校同窓会だ。なじみ深い平塚なので、わが秦野高校は大挙して参加しようと思気こんでいる。

草創140年、創立100年を2年後に控えるわが校の「広畑が丘空はれて…」で歌う校歌は、1931年（昭6年）に制定された。

詩人葛原幽作詞、小松耕輔作曲で、今でも古びてなく青春の歌として高

らかに合唱できる。

同窓会として青春かながわ校歌祭に関わることは母校の創立100周年記念行事にも深く関わることにつながる。今年の平塚での校歌祭への参加は母校の記念行事のプレ大会の意気込みで取り組み、盛り上げていきたい。



校歌祭に参加して うたいましょう 今年は平塚市が会場！！

日時 令和6年9月21日(土)

会場 ひらしん平塚文化芸術ホール

練習日程と場所 ・ 秦野高校

8月10日(土) 10時～12時

8月24日(土) 同

9月8日(日) 同

本部 だより 支部

本部

創立百周年記念事業の成功を

令和5年5月から新型コロナウイルスが感染症法上、季節性インフルエンザなどと同じ5類に移行しました。本年は小田原支部の協力による総会を開催し、終了後の懇親会も4年ぶりに実施できました。

また、青春かながわ校歌祭は久し振りにチアリーディング部の参加もあり、総勢81名でひと際目立ち注目を浴びました。

令和8年に迎える秦野高等学校創立百周年記念事業の準備委員会は実行委員会に移行し、着実に進んでおります。この事業への寄附金については、前々号からお願いしている所ですが、未だ目標額に及びません。本年も引続きお願いいたしたく、「広陵」に振込用紙を同封させて頂きました。今後とも同窓会活動へのご支援ご協力

をよろしくお願い申し上げます。

同窓会事務局長

飯田 保 (高20回)

秦野支部

総会と校歌祭に邁進

支部長を仰せつかつて早や三年が経ちます。前任役員と新任、留任された役員の方々の手解きを受けて支部活動を推進して参りました。

活動は多岐に渡っていますが年中行事として大きなものは総会と青春かながわ校歌祭の2つがあります。

母校が秦野の地にあるので総会も校歌祭もその動員には秦野支部が中心になって動いています。ご参加して下さる方を募るのにひと苦労ありますが毎回大勢の方々のご協力を頂き役員の方々、会員の方々に心より感謝を申し上げます。

今年の総会は当支部が当番で6月22日(土)秦野商工会議所で行います。校歌祭は平塚江南高校が幹事校で9月21日(土)に行われます。

尚、目前に高校創立百周年の記念行事があります。会員の皆様に賛助金をお願いいたします。

草山忠文 (高14回)

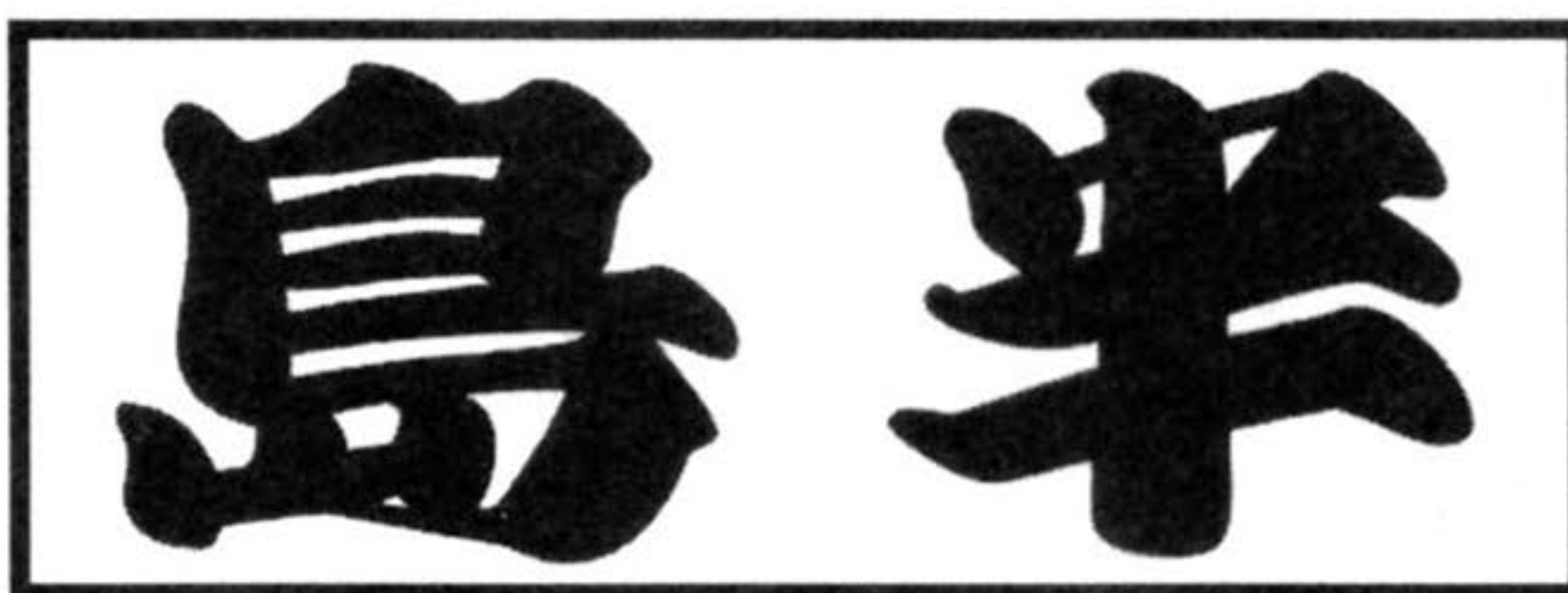
伊勢原支部

積極的な参加を期待

コロナ禍による活動の制約も解消に向かい、支部総会・支部研修共に五年度から対面での実施となりました。総会は懇親会と合わせて令和5年6月15日に、支部研修は12月3日に「横須賀軍港巡りと三崎港・横浜中華街等散策」によるバス旅行としてそれぞれ実施しました。参加された会員の皆さんは旧交を温めつつ近況の報告を語っていました。

現在、本部・他支部を含めて会員の高齢化や減少など組織運営や広報活動等に関する様々な課題を抱えています。伊勢原支部は本市にて卒業された方をはじめ、厚木市・座間市・大和市・海老名市・綾瀬市・相模原市在住の卒業生の方も当支部の所属となっておりますので、積極的に参加してい

地に足つけて。創業明治十年



本社：神奈川県秦野市鈴張町5-30 ☎(0463)82-2211 東京支店：東京都港区南青山2-2-15-540 ☎(03)6447-1925
ホームページ <http://shimahan.co.jp/>

ただけを期待しております。

今井勝重 (高29回)

平塚支部

同窓会の今後を考える…

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5月に第5類に移行され、行動制限も緩和されてきました。

平塚支部では6月18日に役員会兼総会を開催しました。当日は10名が参加して令和4年度の「事業報告」「収支決算報告」、そして令和5年度の「事業計画(案)」「収支予算(案)」を説明し、承認されました。その後久しぶりにお酒を交わして懇親会を深めました。参加した皆さんは地元で活躍している様子で活発な情報交換ができました。しかし役員の高齢化が進み、年々参加者も減少しており、同窓会の存続が危うくなっています。

さて、令和6年度の青春かながわ校歌祭が平塚を会場に開催されます。多くの同窓生が参加できるよう支部でも協力していきたいと思っています。

小川喜久雄 (高28回)

小田原支部

じつと待つ

前回52号で報告しました、支部の活動から変わったことは行なっておらず、日常生活を送っております。コロナウイルス感染症がナリを潜めている一方、インフルエンザがいたる所で発症しており、その対応に苦勞されている関係機関の皆様には感謝しております。小生の回りの学校も集団発生のため学級学年閉鎖をされている話を聞きます。さて当支部は、年間計画に従って支部総会や、会員相互の懇親会等を通じて、コミュニケーションを深めておる所です。本部役員の皆様には秦高の益々の発展のために惜しみない力を發揮されて、頑張っていたきたいと思っております。

安藤誠二 (高14回)

南足柄支部

総会への協力に感謝

令和5年度の県立秦野高等学校同窓会総会は「湯本富士屋ホテル」で、6月29日(木)に

開催された。

これに先立つ6月4日(日)に幹事支部の小田原支部と南足柄支部は、合同打ち合せ会を開いた。総会も懇親会も、ともに大成功だった。同窓会長をはじめ本部役員や各支部の協力のおかげである。懇親会の「みんなで歌う大正琴コンサート」も時を忘れるほど楽しかった。大正琴の伴奏に合わせて歌った秦高校歌もいい思い出になった。大正琴愛好会「花」の皆さん！ありがとうございました。

初代南足柄支部長の端山昭夫氏(中18卒)の訃報が届いた。現支部長が代表して弔問した。端山昭夫氏のご冥福を心からお祈り申し上げます。

重田武男 (高15回)

東京支部

現在、東京支部は活動しておりません。

我と思わん方は、支部活動に参加していただませんか。参加を希望する方は、同窓会本部に連絡をしてください。よろしくお願い申し上げます。

長沢孝治 (高13回)

湘南減災科学研究所

令和元年春の叙勲 瑞宝小綬章受章

危機管理アドバイザー 出 縄 高 昭 (高19回)

(防災・防犯・危機管理対策を官公庁、会社、病院、学校、自治会等で講話)

事務所 〒254-0901 平塚市纏 340-3
電話 080-5175-4146

広畑が丘 空はれて 秦中・秦高 に想う

ことだま
言霊に導かれて

吉田 信男(旧姓武井・高17回)

(前号からの続き)

(3) いまも走り続ける

伝統とは、指導力云々というよりも、生徒同士が先輩の姿をお手本に、後輩が良い型の努力を継続して築いてくれた結果だったと信じています。

私が高校3年の秋、恩師から掛けて頂いた励ましの言葉やオリンピックや国体等の大きな大会から感動を受け、体育の道に進み自分の成功体験や努力・工夫の大切さ、

指導に当たった生徒の成功・失敗体験を肥に伝え続けた結果が、教員生活を通じて延べ600回以上の全国・県大会入賞者と巡り合えた幸運を感謝せずにはられません。

今年「喜寿」を迎えますが、今でも走り続けている原点には、ある1人の生徒からの言葉があります。彼が『僕が関東大会まで行けたのは、先生の後ろ姿のお陰です。僕達の指導が終った後、山北の方へ練習に行かれる。その姿を見て「明日からしっかり練習しよう」と何回も思った。お陰で関東大会まで行かれた。だから先生これからも走り続けて下さい』と送別会で語ってくれた。それを聞いて私は涙がこぼれた。

だから32歳以後も生徒と走り続けた結果41歳で500mで2回、49歳と50歳で3000m障害で4回、マスターズ陸上では日本新記録を出すことができました。

母校との縁は、地元の松田中学校で、夏休みに入って、特設陸上部の指導を校長・教務主任兼陸上担当のご高配に依って60歳以上も若い中学生から力をいただきながら、走り、跳び、投げる機会を4年も続けて

います。まだまだ走れるうちは58年、走行距離は30万キロ(地球7周半)を超えました。創立100周年を2年後に迎える母校のますますの発展・充実と会員の皆様方のご健勝を祈り上げつつ「広陵」に寄せる文とさせていただきます。

同期会だより

高14回生最後の同期会

越水 清 (高14回)

令和5年11月3日、昭和37年卒業の高校第14回生の同期会を5年ぶりに開催しました。今回は傘寿を節目とし最後の同期会です。

45名の参加で屋外での集合写真撮影後、亀井、石射両幹事の司会・進行により開会しました。

はじめに故人となられている同期生に黙祷して懇親の宴となりました。

卒業以来の再会を喜び合う光景など懐かしく楽しい語らいひとときとなりました。

介護老人保健施設

社会福祉法人 恩賜財団 湘南苑 済生会

顧問 土屋 克巳 (高28回)

〒254-0046 神奈川県平塚市立野町37-1
電話(0463)31-0520(代) FAX(0463)31-3177



平塚の長谷川君、伊勢原の山内君はじめ何名かの方から高校時代の思い出や卒業後の道のりなど、興味深いスピーチにも耳を傾けました。

最後に、「人生百年時代ともいわれているこのごろ、これからも皆さんお元気に過ごされますように」と西川瑞枝幹事の挨拶で名残惜しくも閉会しました。

66回目最後の同窓会

浅田忠男（高6回）

米寿を迎える我々には、この3年間のコロナ禍は大きな痛手となった。

昭和29年3月卒業、翌年元旦に第1回クラス会を開催して以来、回を重ねること66回、休むことなくよく続いたものだと思っている。

コロナ禍を除く最後の同窓会は、箱根湯本のホテル「おかだ」に於て、令和5年4月17日に開催した。

会は内藤優幹事の司会で幕を開け、代表の挨拶となる。

コロナ禍の休会の際に物故者となった、幹事の栗原俊君や多くの常連メンバーに黙祷を捧げる。

久々にブラジルから参加の内藤隆嗣君をはじめ11名の出席者に感謝の意を述べ、予てより参加者が15名を割ったら同窓会を解散すると決めていたことを伝え、最後の総括とした。

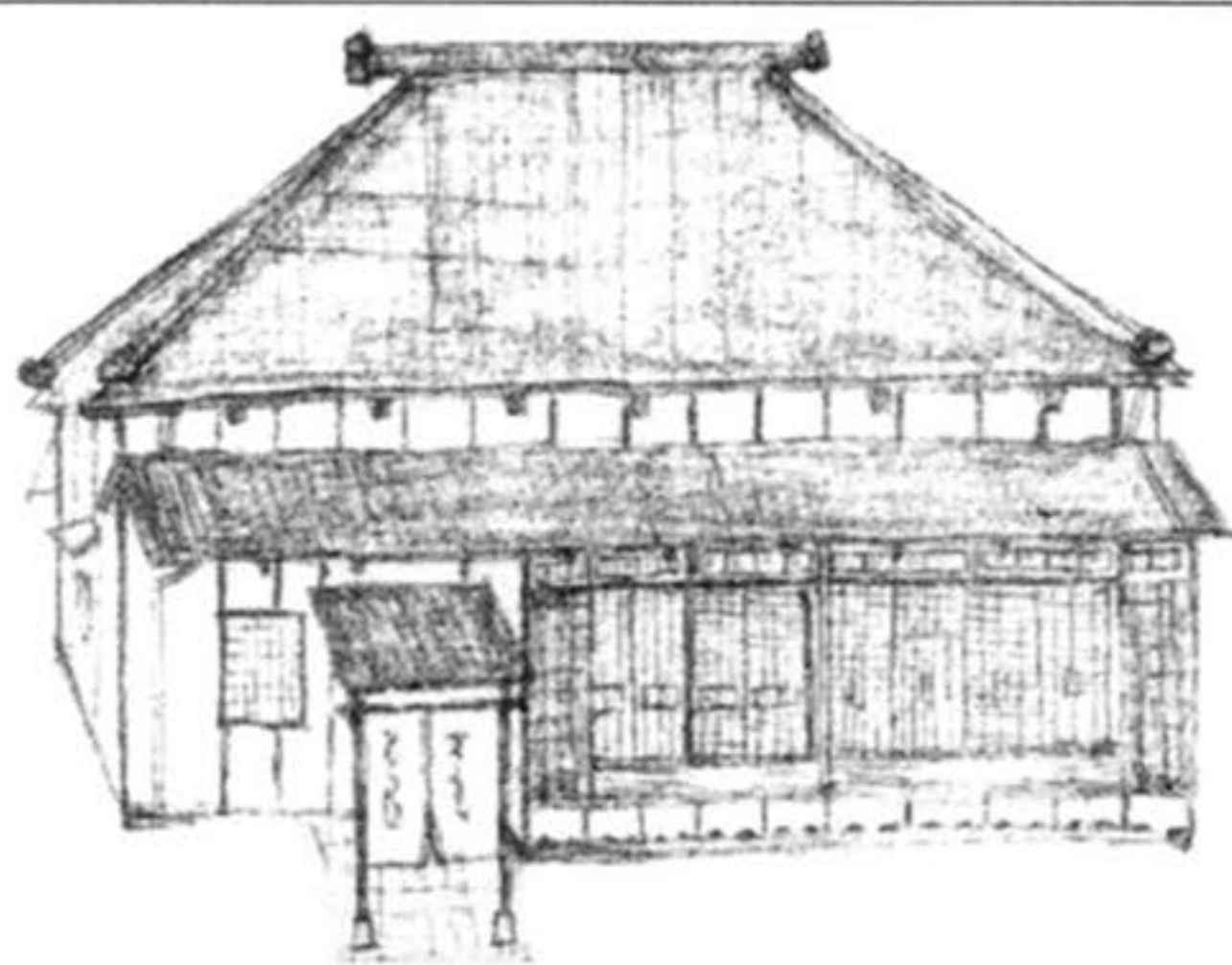
会は川口英夫君の乾杯の音頭で活況に入



り、各人の近況報告で最高潮となった。人数こそ少ないとはいえ、2時間はアツと言う間に経過した。

会の最後は恒例の校歌斉唱。杉田宏君の指揮の下、ひと際大きな声でうたった。66回続いた同窓会は感激の一本締めで有終の美を飾ったのだった。

*浅田忠男様は1月17日にご逝去されました。慎んでお悔み申し上げます。



古民家で旬を味わう
関東三大稲荷神社 白笹稲荷神社そば

白笹うどん

休日 お正月3が日・不定休有

秦野市今泉1039-6

TEL. 0463-83-7253

在職中の想い出

秀麗比なき芙蓉峰

西村 正広

(令和3年4月～令和6年3月)

秦野高校には、副校長として3年間勤めさせていただきました。個人的な話になりますが、秦野高校は自宅から最も近い場所にある県立高校であり、初めて徒歩で通勤できる学校でした。

毎朝フレンド坂を登るのはつらいので、駅横の踏切から大根中学校に続く坂を登って通いました。途中、大根小学校の校庭越しに富士山が大きく見える場所があり、そこから富士山がきれいに見えると、その日の仕事がつましく思うようになります。

秦野高校に近づいてくると、宿矢名バス停のあたりで、今度は秦野高校のイチョウ越しに富士山が見えます。この文章のタイトルに借りましたが、まさに秀麗比なき姿に毎朝感動していました。

そうした恵まれた環境の中で、生徒たちは伸び伸びと、勉強や部活動に、それぞれ

の夢に向かって取り組んでいます。その姿を見るたびに、伝統の重みというものを感じていました。この伝統の重みを積み重ねてこられた同窓会の皆さまに、あらためて敬意を表させていただきますと思います。

ようやくコロナによる様々な制約も解け、今後は教育活動もコロナ前と同様か、それ以上に活発になっていきます。どうぞこれまで以上に、同窓会の皆さまによるご支援をお願いします。3年間ありがとうございました。

生徒と共に歩んだ5年間

村田 一樹(数学)

(平成30年～令和5年3月)

県外出身の私は、初任校が秦野高校ときいたとき、どのような学校か全くわかりませんでした。

緊張の中、迎えた勤務初日、生徒の元気なあいさつで迎えてくれ、私の緊張はほぐれ、これから始まる教員生活への活力が湧いたあの感覚を今でも覚えています。

私は秦野高校での5年間、多くの生徒と関わり、一緒に成長してきました。

なかでも最も印象に残っているのは、私が初めて担当した生徒たちです。

「高校のクラスでこんなにも仲良くなるのか」と思うほど仲がよく、明るく元気で前向きで、一緒に過ごす日々が毎日楽しいと思える生徒たちでした。

彼らとともに乗り越えた日々は、私を教員として大きく成長させてくれた5年間でもありました。

秦野高校で多くの人と出会い、たくさんのことを学ばせていただきました。

この貴重な経験を自分の糧として、関わってきた人たちへの恩返しを心がけながらがんばっていこうと思います。

第二の母校10年の想い出

藤田 俊光(地歴)

(平成26年4月～令和6年3月)

秦野高校には10年間お世話になり、この間出会った生徒・先生方をはじめすべての方との出会いが私の財産です。秦高は母校ではありませんが、これまでの人生の約4分の1を過ごしたこの場所が「第二の母校」のように思っています。30代から40代にかけて教員と

地域の健康を願って SINCE1905



佐野十全堂薬局

〒257-0035 神奈川県秦野市本町2-5-6

代表電話 (0463)81-0031

しての充実期に、私も生徒と一緒に、教員として一回り成長させてもらった思いです。

私の在職中の10年間、本校は、平成27年度までは「学力向上進学重点校」、平成28～令和3年度までは「ICT活用授業研究推進校」、そして令和4年度からは「STEAM教育研究推進校」として県教育委員会から指定を受け、本校にとっても過渡期だったと感じています。次々と学校の「看板」の色は変わっても、生徒の気質、学校の温かい雰囲気は変わらず、私にとって10年間愛すべき誇れる職場でした。

この10年間の中で忘れられないことは新型コロナウイルスに係る対応です。臨時休校や分散登校、相次ぐ行事の日程変更、健康観察や消毒作業に向けた物品購入、オンライン授業や配信授業など前例のない初めての体験をさせていただきました。5類移行後はかつての秦高の姿が少しずつ戻ってきましたが「伝統×挑戦」のもと、学校のあり方を新しい令和版の秦高にリメイクしながら創立100周年に向けて前進している秦高の姿を見ながらの離任となりました。

最後になりましたが、秦野高校のさらなる発展と、変わらず温かい学校であり続けることを願っております。

桃栗……秦野10年

二見 祐太(数学)

(平成26年～令和6年3月)

勤務校2校目となる秦野高校では10年間在籍してもらいました。1年目の副担任以外の9年間連続でクラス担任を、部活動でも陸上競技部&チアリーディング部を10年間、その内それぞれの部活動で主顧問を務めさせてもらえたときもあり、校務でも10年間教育計画Gで様々な仕事をさせてもらいました。まず「この1年1年を」という思いで10年間という長い間やらせてもらってきた中で、担任・顧問・教員としてもまだまだ一人前にはほど遠いのですが、秦野高校の生徒や先生方に恵まれ、学年では学年主任や顧問としてはインターハイや全国大会優勝など様々な経験をさせてもらい私自身成長させてもらいました。成長させてもらえたこの10年間の環境や出会いに感謝をするとともに、今後の秦野高校の生徒

には「桃栗3年 柿8年」のことわざの通り、すぐに目に見える結果を出すことが出来なくても成果・努力を信じ、何事にも諦めず頑張つてほしいとおもいます。

母校の近況と 生徒の様子

校内幹事

粕谷 啓介(高56回)

能力の育成に取り組んでいきます。学習内容は、探究活動の基礎を学びながら、社会的な意義を踏まえた探究活動を行い、その成果を発表するというものです。このような学習がきっかけとなり、将来社会に貢献できる人材に成長してくれることを期待しております。

今年度の本校は、コロナ禍の以前の教育活動の形に戻ることができ、学校全体に活気に満ち溢れていました。今年度より、長年親しまれてきた陸上競技大会に変わり、隔年で行われてきた体育祭・文化祭が毎年開催されることになりました。体育祭は、グラウンド復旧工事のためメタックス体育館はだの(秦野市総合体育館)で開催されました。体育館での開催ということで、実行委員中心に競技種目を工夫して行い、一体感のある体育祭を作り上げました。「STEAM教育推進校」の指定を受けて2年目を迎えました。本校では、「STEAM教育Ⅱ探究活動」とし、生徒の課題解決

部活動では、男子ソフトテニス部のペアがインターハイ出場、弓道部男子団体が国体予選で4年ぶりの神奈川県制覇、剣道部女子が創部初の関東大会出場、チアリーディング部が全国大会出場、卓球部、山岳部、陸上競技部が関東大会出場を果たすなど、多くの部が優秀な成績を収めました。他の部活動も県大会上位に入るなど活躍しております。次年度も学習、部活動、学校行事に活躍してくれる生徒に大いに期待しております。

部活動の近況報告

ライブに賭ける青春！

サウンド研究部
渡辺 伸也

本校サウンド研究部のOBでもあった前顧問の水上先生の後任として令和5年度に主顧問となりました。サウンド研究部は例年多くの新入部員を集めます。ギターやベースやドラムといった楽器に初めて挑戦する者が多く、入部後の楽器体験を経て担当楽器を決め、バンドを結成してデビューに向けた練習に励みます。動画サイトなどが充実している現代は、メンバーの練習方法もひと昔とは大きく様変わりしている気がします。

1〜2か月に一度の校内ライブに加え、1月には伊勢原市のボックス・スタジオを貸し切ったライブを実施しています。また令和5年度は、秦野市のはだの魅力づくり推進課主催の11月のイベントに参加したり、3月に秦野イオン

ショッピングセンターでライブを行うなど、校外に飛び出した活動も積極的に行っているところです。

部員たちの練習の成果を同窓会の皆様にもお楽しみいただけたら大変嬉しいかぎりです。文化祭や外部でのイベントなどで、本校サウンド研究部のライブに触れる機会がございましたら、ぜひ熱い声援を送っていただきたいと思います。

日々活動ができる喜びを

水泳部
根倉 潤

秦野高校に来て早4年。私が赴任したときは、新型コロナウイルスの影響で、臨時休校が続ぎ、部活動も思うようにできませんでした。その後、部活動が再開するも、今度はプールの機械が故障し、プール開きができず、生徒も私も不安を抱える中でのスタートでした。そのような状況下でも、部員同士でできるメニュー

ーを考えて行い、何かと活動を継続していくことができました。

現在はコロナ禍も落ち着いてきて、通常の大会運営や応援が可能となりました。生徒には、今の環境が当たり前と思うことなく、活動ができる喜びを感じながら、目標に向かって努力を重ねてほしいと思います。

水泳部は、夏は競泳、冬は筋トレやラニングを中心に、月に数回、地域のプールをお借りして活動を行っております。今後とも水泳部の応援をよろしくお願いいたします。

自身の成長を第一に

山岳部
紀伊 光太郎

山岳部の主顧問を務めて2年目になります。日頃より大変お世話になっております。

今年度の山岳部は、登山大会県予選において優秀校を受賞し、昨年度に続き関東大会出場権を獲得しました。昨年度は残念ながら関東大会本戦は中止となりましたが、今年は無事開催され、代表部員

保険のことなら



有限会社 三恵保険事務所

代表取締役 大屋 崇 (高44回)

〒257-0031 秦野市曾屋1174-14

TEL.0463-85-3366 MAIL.info@sankeihoken.com

2名が相洋高校の生徒とチームを組んで出場しました。

本校山岳部では登山だけでなく、クライミング競技にも力を入れております。昨今のクライミング人気の高まりもあり、大会のレベルは年々上昇しています。大会の中でも自身の成長を第一目標にして、多くの生徒が練習に打ち込んでいます。日々の山行やクライミング練習にあたり、保護者の皆様に多大なご支援をいただいております。危険と隣り合わせですが、自然に触れ、自身の成長を噛みしめられる素晴らしい部活動だと思っております。生徒・顧問ともども一層精進して参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。

伝統と新たな風

野球部顧問
松山 大介

先ずはじめに、皆様には日頃から多大なるご支援、ご声援をいただき、大変感謝しております。令和5年度より、前任の上谷から監督を引き継ぎました松山と申します。今後ともご支援の程宜しくお

願い申し上げます。

さて、部の近況ですが、現在2年生10名、1年生8名（うちマネージャー2名）で活動しております。この秋の新チームから坊主頭をやめ、短髪ならOKということにし、とにかく「野球」というスポーツを究めることに集中し、野球を好きで、続けようと春の県大会出場を目標に日々練習に励んでいます。

最近ではめっきり野球人口が減り、市内の中学校の野球部をみても、どこも少ない人数で活動しており、本校野球部も一昔前に比べると小所帯で活動しているのが現状です。ゆえに、秦高野球部の伝統は重んじつつも、世の中の新たな風に対応すべく今いる部員とともに精進していきたいと思っています。

恩師から引き継いだ5年間

剣道部
西山 和毅

秦野高校剣道部は、昭和44年に国民体育大会県予選で男子団体が優勝するなど輝かしい記録を残してきた伝統ある部活動です。平成31年4月、私はそれまで10

年間指導してこられた山本茂先生から顧問を引き継ぐかたちで着任しました。山本先生は、私の高校時代に剣道部顧問としてお世話になった方であり、先生が築き上げた剣道部をさらに発展させようと決意し着任しました。やる気のある素晴らしい部員たちや、いつも支えてくださるOB・OGの先輩方に恵まれ、今年度ついに、昭和52年以来46年ぶりとなる関東大会出場を達成することができました。出場した部門は男子個人（県予選2位）と女子団体（県予選4位）であり、ともに創部初の出場ということで記憶に残る大会となりました。部活動には計り知れないほどの教育的効果があり、生徒たちは3年間で逞しく成長します。目標に向かって仲間と協力し、時に笑い、時に涙し、挫折や成功を繰り返しながら過ごす日々。そのような経験は心を育てます。部活動の発展が秦野高校の発展に繋がると信じ、未熟者ではございますが、これからも指導に全力を注いで参ります。



土地・建物・売買・仲介
ALL COMER
神奈川県知事免許(6)第20905号

有限会社 **オール・カマー**

代表 佐々木 基 (高37回)

☎0463 92-0015 伊勢原市田中543-5
FAX.0463-92-4993

URL <http://www.allcomer.jp>

寸描

母校2023年度

—令和5年度の進路状況と 今後の取り組み—

キャリア教育グループ 今井 公彦

2024年入試については、高卒者数の減少（約4%）もあり、4年制大学の受験者数が62万4千人と前年比約3%減となりました。大学入学共通テストについては、出題傾向がほぼ定まったことに加え、2025年新課程入試を控えるため、大幅な変更はない形で実施されました。国内外の経済情勢にともなう家計の不安の影響もあり、

学校推薦型選抜や総合型選抜（旧AO入試）の「年内入試」で早期に合格を確保したい受験生の増加が見込まれ、さらに一般選抜でも、私立大専門型の受験生にとって、独自入試との対策の違いが大きい共通テストを敬遠する「共通離れ」の傾向がみられました。実際2024年共通テストの受験者数は49万1914人と前年から2万人減少しました。志願者数が50万人を割り込んだのは、1992年の大学入試センター試験以来、32年ぶりのことでした。これらの環境のもと本校令和5年度卒業生357名の進路先については、4年制大学323名（内国公立31名）、短期大学2名、大学校および専門学校5名、進学準備20名となりました。今年の特徴としては、昨年以上に国公立大学志向が高かったことがあげられます。合格者も首都圏や関東近県の難関国公立に多くの合格を勝ち取りました。現役合格者も2006年以来17年ぶりに30名の大会を越え、31名に達しました。一

方、受験生に人気のGMARCH以上の難関私大については、やや減らしてしまいました。今後、減少してしまつた原因などを丁寧に分析し、次年度につなげていきたいと思っています。この他、指定校推薦による進学者は64名、公募制推薦や総合型（旧AO）での進学者は34名と昨年同様かなり少ない数となりました。これも昨年に続き、「安易に妥協せず自分の行きたい大学を目指して最後まで挑戦せよ」という進路指導の結果だと考えています。来年度、現在の高校2年生が受験する新課程大学入学共通テストは、大学教育を受けるための必要な学力をはかるための試験であり、高校における基礎的な学習の達成度を測るものとして定義されています。何よりの共通テスト対策として、高校の授業で基礎学力をしっかりと身につける必要があるといえます。悔いの残らぬよう自分の力を最大限発揮できるよう指導してまいりたいと思います。



医療法人社団

はぎわら歯科医院

院長 歯学博士 萩原 鉄也 (高37回)

〒259-1122 伊勢原市小稲葉100-12

0463-92-6449

2023年度 主な大学・短大合格者延べ数

大学名			現	卒	大学名			現	卒	大学名			現	卒			
国公立大学					慶工	応	義	塾	1		東	京	女	子	2		
室	蘭	工	業	1	国	学	福	院	12		東	京	成	徳	2		
岩			手	1	国	医	療	社	19		東	京	造	形	2		
茨			城	3	駒	士		館	11	1	東	京	電	機	4		
字	都	海	宮	1	相			澤	5		東	京	都	市	6		
東	京	通	洋	1	産	沢	女	子	28	1	東	京	農	業	17	1	
電	気	国	信	3	実	模	女	率	4		東	京	理	科	19		
横	浜		立	2	芝	業	能	子	7		東	京		科	2		
静			岡	1	松	践	女	業	8		東	京	学	院	3		
富			山	1	上	浦	工	陰	4		東	英	和	協	22		
金			沢	1	女			智	1		東	古	外	語	2		
信	古		州	1	湘		栄	養	2		獨	松	学	舎	3		
名			屋	1	湘	子	医	療	1		名	本	工	本	2		
山			口	1	昭	南	工	科	4		二	本	女	業	39	2	
琉			球	1	昭	和		和	2		日	本	学	子	4		
東	京	都	立	3	昭	和	音	楽	4		日	本	十	護	1		
神	奈	保	福	3	昭	和	女	子	1		日	本	ス	院	4		
川	崎	立	祉	1	昭	和	薬	科	1		フ	本	学	教	2		
横	浜	市	護	3	昭	和	女	和	5		文	京	学	政	1		
諏	訪	東	理	1	白	百	合	子	2		文			科	23		
静	岡	県	立	1	杉	野	女	子	1		法			野	1		
私立大学					成			修	11		星	蔵	美	術	4		
愛		知	院	1	成			価	12		武	蔵	学	治	4		
青	山	学	布	32	専			穂	53		明	治	学	院	11		
麻			亜	5	創			殖	1		明	の	く	星	29		
亜			林	1	高			川	1		も	マ	動	り	1		
桜	細	芸	術	9	拓			術	11	1	マ	ザ	物	護	1		
大	阪	女	子	1	玉			央	3		横	浜	商	科	1		
学	妻	芸	院	4	多			塾	28		横		業	科	5		
神		工	川	7	中			京	6		立			教	8		
金	習	女	科	75	津			成	15		立	命		正	4		
鎌	奈	工	業	28	帝			学	8	1	立	稲		館	1		
関	沢	女	子	3	帝			浜	3		和			光	3	2	
関	倉	学	西	5	桐			海	2		早			田			
神	西	外	院	2	東			健	167		私立短大						
関	田	学	語	3	東			政	1		上	智	大	短	大	1	
北	東		院	1	東			工	2		湘	北	短	大	1		
杏			里	9	東			芸	1		東	京	政	大	1		
			林	18	東				20								
				2					8								

お知らせ

▼会報について

現在、会員の皆様に届けられている「広陵」はホームページでも閲覧できます。

会報送付が必要ない方は、左記へご連絡くだされば、次号より送付しません。

▼転勤や結婚など

今までの住所から新たに転居された方は、ご連絡ください。また、会員、旧職員で亡くなりになった場合は、ご家族様もしくはご親戚様が連絡をお願いします。

▼叙勲を受けられた会員の方は、左記へご連絡をお願いします。

▼連絡先

〒257-0004 秦野市下大槻113
秦野高校内同窓会あて(郵送)
ホームページ
<http://www.koryokai.info/>

春の異動

次の先生方が転退職されました。長い間、ありがとうございました。(敬称略・順不同)

【退職】

渡辺 伸也 西村 正広
今井 公彦 高橋 岳之

【転任】

二見 祐太(厚木清南)

令和5年度全国大会

支援金振込者

会計報告

令和5年度全国大会支援金収支決算報告

収入(繰越金、支援金)	1,954,124円
支出(派遣費、手数料)	180,660円
残金(繰越金)	1,773,464円

本年度は派遣援助金振込用紙を同封しますが、今後ともよろしくご支援のほど、お願い申し上げます。

2022年度 部活動県大会ベスト8以上の結果

男子ソフトテニス	関東大会 予選 団体2位 個人ベスト8
卓球	関東大会 予選 団体3位 個人5位
弓道	全国大会 予選 団体3位 個人ベスト8:1ペア
剣道	関東大会 予選 団体優勝
山岳	関東大会 予選 ダブルスの部3位
チアリーディング	関東大会 予選 女子団体6位
弦楽合奏	関東大会 予選 女子団体5位
	関東大会 予選 男子団体優勝 男子個人4.6位
	関東大会 予選 男子団体7位
	関東大会 予選 男子団体準優勝 男子個人7位
	関東大会 予選 男子個人優勝
	関東大会 予選 男子個人3位
	関東大会 予選 女子個人5位
	関東大会 予選 男子個人準優勝
	関東大会 予選 女子個人4位
	関東大会 予選 男子個人ベスト8
	関東大会 予選 女子団体5位
	関東大会 予選 関東の部 出場
	〔神奈川大会〕USA Regionals 神奈川大会 2024
	高校編成 Show Cheerleading部門 1位
	〔全国大会〕USA Nationals 2024
	高校編成 Show Cheerleading部門 優勝
	第47回全国総文祭鹿児島大会 出場

物故者

青柳 春音(自宅)

慎んでお悔やみ申し上げます。

【旧職員】(敬称略・順不同)

川島 保輔(昭49/51) 事務
秋山 公子(平4/5) 国語
本間 静夫(平元/15) 理科
近藤 儀房(昭42/62) 国語

渋谷 壽雄(昭51/55) 美術
塩田 博(平2/19) 体育

高6荒川義行 高6浅田忠男

編集後記

今回の記事に久々、同期会の便りが寄せられた。高6回と高14回の方々からお元気な様子がとてもよくうかがえる内容でした。

コロナの終息と言ってよいかはよくわからないが、今後は以前のような日常生活にもどっていくものと思われる。同期会やクラス会などを通じて、同窓生の元気な様子をまたお寄せください。

秦野高等学校同窓会

会報委員会

〒257-0004 秦野市下大槻1-13番地 県立秦野高等学校内
ホームページアドレス <http://www.koryokai.info/> 振替口座 00120-8-22689

発行責任者

桐山昌幸(高15)

小泉広澄(高17)

北村 卓(高20)

山口雅弘(高14)

長谷川敏子(高17)

小椋義一(高19)